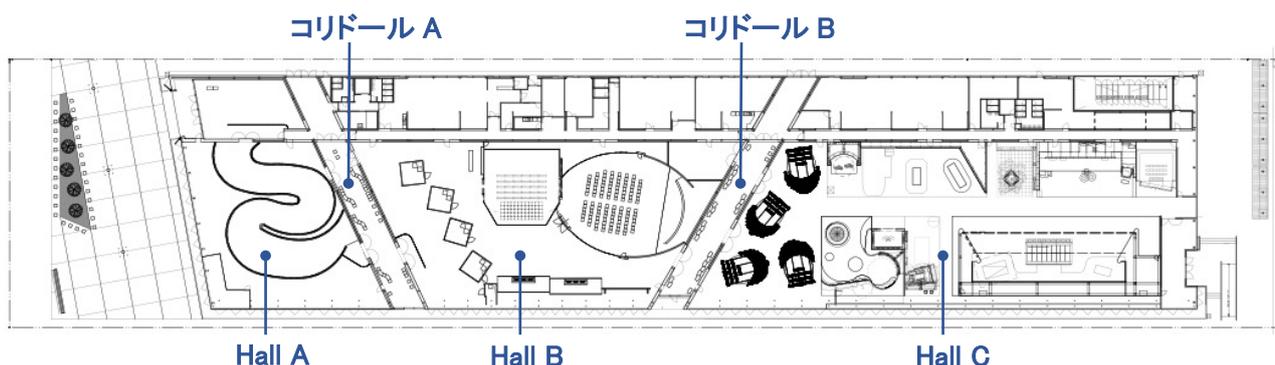
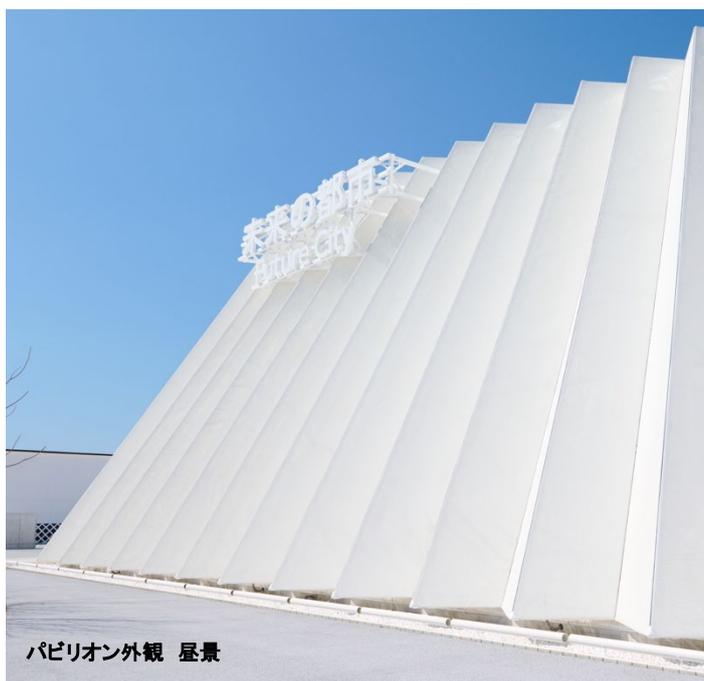


# 未来の都市

【設計】株式会社 SD





### 【パビリオンの概要】

「未来の都市」は博覧会協会と協賛 12 者による共同出展事業であり、博覧会史上でも稀なパビリオンである。

全長約 150m のファサードは外壁の内膜と折り紙のような表層膜による“ダブルスキン”で構成されている。モアレが浮かぶファサードには、日中は真っ白な陰影が刻まれ、夜は建物そのものが照明装置として多彩な演出が展開される。

3 つのホールは、テーマである「Society5.0」が目指す未来の都市を体感できる多様な展示が織りなされ、各室の間を繋ぐコリドールは外観のアクセントであるとともに展示ストーリーを転換する場にもなっている。

また建物としても脱酸素・循環社会への取り組みとして、外壁や屋根・ファサードには自浄機能のある光触媒

メッシュ膜を採用した他、実証実験として、舗装やベンチに使用された CO<sub>2</sub> を吸収・固定する「CARBON POOL コンクリート」や、CO<sub>2</sub> 濃度や室温を計測して換気量・空調運転を制御する「エネルギーマネジメントシステム」など、複数のエネルギー消費削減に取り組んでいる。

### 【設計概要】

面積	: 敷地/7,099.09 m <sup>2</sup> 、延床/4,797.02 m <sup>2</sup>
構造	: 鉄骨造 + 骨組膜構造 + システムトラス造
発注者	: 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会
施工	: 太陽工業株式会社
設計	: (意匠) 株式会社 SD、株式会社石嶋設計室 (構造) 株式会社 KAP (機械) 株式会社テーテンス事務所 (電気) 株式会社 ELEPLAN

当施設の確認検査及び適判審査は、(一財)日本建築総合試験所が実施しました。